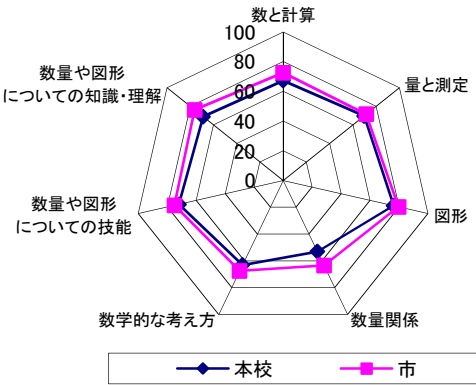


宇都宮市立岡本小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |
|-----|-----------------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    |
| 領域別 | 数と計算            | 67.2 | 72.5 |
|     | 量と測定            | 69.7 | 71.5 |
|     | 図形              | 76.2 | 79.6 |
|     | 数量関係            | 53.0 | 63.5 |
|     |                 |      |      |
| 観点別 | 数学的な考え方         | 63.1 | 67.6 |
|     | 数量や図形についての技能    | 71.9 | 75.1 |
|     | 数量や図形についての知識・理解 | 69.0 | 76.3 |
|     |                 |      |      |



★指導の工夫と改善

| 領域   | 本年度の状況                                                                                                                                                                                   | 今後の指導の重点                                                                                                                         |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と計算 | ・平均正答率は宇都宮市より下回っている。特に、整数÷小数の商と余りを求める問題では、商を立てる際的小数点の移動やあまりの小数点の位置などにつまずきが見られた。そのほかにも、帯分数・仮分数・整数の大きさを比べる問題、文章問題を解くために小数の除法の立式をする問題などの正答率が低かった。                                           | ・整数や小数、分数の仕組みや四則計算の基本的なやり方を復習するとともに、朝の学習や家庭学習において計算練習に取り組ませ、定着を図っていく。                                                            |
| 量と測定 | ・平均正答率は宇都宮市よりもやや下回っている。特に、立方体の体積を求める求める問題については正答率が宇都宮市の平均を大きく下回っており定着が不十分である。また、混み具合を比べる問題でも、宇都宮市の平均よりは大きく上回っているものの、正答率が約64%と決して十分とは言えない。ただ、平均を求める問題については、正答率が80%を上回っており、おおむね定着していると言える。 | ・立体の体積を求める公式をその意味とともに復習し、多様な練習問題を解かせることにより確実な定着を図っていく。また、混み具合は単位量あたりの大きさで比べられることを押さえ、その求め方を確認して、反復練習を行う。                         |
| 図形   | ・平均正答率は宇都宮市よりも下回っている。三角形の内角の和や合同な図形の性質については、正答率が85%を超え、おおむね定着していると言える。しかし、正方形の辺と辺の関係や四角形の対角線の性質、多角形の内角の和などについての理解は不十分である。                                                                | ・図形をいろいろな観点から分類するような活動を取り入れたり、図形の性質を使って正確に作図したりすることなどを通して、図形の理解をより確かなものにしていく。また、角度を求める問題では、解き方を確認し、反復練習をすることで、いっそうの定着を図っていく。     |
| 数量関係 | ・平均正答率は宇都宮市よりも下回っている。特に、伴って変わる2つの数量を式に表すこと(4年の学習内容)や計算のきまりを小数へ拡張すること、式の意味を理解し、逆算で答えを求めることについての定着が不十分である。                                                                                 | ・日々の授業の中で計算のきまりを使うことの便利さを指導し、図や具体物などを用いて、交換法則や分配法則、結合法則などを正しく理解させ、活用できるようにする。また、前学年までの学習内容についても、取り上げて復習したり、家庭学習等で取り組ませたりして定着を図る。 |
|      |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                  |
|      |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                  |